

不易流行

～和賀組社長からのメッセージ～

VOL.107 (2025.2.27)

令和6年度スローガン
過去最高業績への挑戦
～和賀組さんで良かったと言われよう～

株式会社和賀組 代表取締役 和賀幸雄

1月28日からの2日間にわたり、長崎市で「全国商工会議所観光振興大会 2025 in 長崎」が開催されました。初日は第1分科会「歴史・文化から新たな観光創造へ～温故創新～」第2分科会「観せる！味わう！食が人を動かす！～魚で観光力を再発見～」第3分科会「スポーツが動かす、地域の未来～長崎スタイル～」第4部会「ふるさとと賑わい、繋ぐ担い手 ～持続可能な まつり・イベント～」という4つの分科会に分かれてパネルディスカッションが行われました。私は長崎スタジアムシティハピネスアリーナで開催された第2分科会に参加しました。



2024年10月14日にグランドオープンした「長崎スタジアムシティ」は、2万人収容のサッカー専用スタジアム(PEACE STADIUM Connected by SoftBank)、6,000人収容の多目的アリーナ「HAPPINESS ARENA」、オフィス棟「STADIUM CITY NORTH」、スタジアム直結のホテル「STADIUM CITY HOTEL NAGASAKI」、ショッピングモール「STADIUM CITY SOUTH」などを備えた巨大な再開発施設でした。スタジアムはJ2のV・ファーレン長崎、アリーナはB.LEAGUE・長崎ヴェルカのホームとなっています。

この敷地は三菱重工長崎造船所の跡地で、2017年から土地の活用者を公募、約2万坪の土地をジャパネットホールディングスが取得して計画が始まりました。総事業費は800億円と見込まれてスタートしたプロジェクトは最終的には1,000億円まで増加、驚くことに行政からの財政的支援を一切受けない純民間事業として実施され、**ジャパネットが借入れを含めた事業費の全額を拠出**して完成しております。つまり国・長崎県・長崎市からの資金負担は無かったということでした。

テレビCMでおなじみのジャパネットたかたは、創業者の高田明氏が父の経営する「カメラのたかた」から1986年（昭和61年）に独立して「株式会社たかた」を創業、店舗販売をしていた1990年（平成2年）にラジオショッピングをしたところ、放送時間の5分間で50台のカメラが売れたことから、ラジオショッピングを主体とした通信販売業務に専念するようになったそうです。1994年からテレビショッピングをスタート、あの甲高い独特のセールストークで一気に業績を伸ばしたことは皆さんもご存知のとおりだと思います。三菱の街であった長崎、今はジャパネットの街になっておりました。

首都圏ふるさと湯沢会



2/1 東京都日暮里において、「首都圏ふるさと湯沢会」は、平成17年の湯沢

市合併時に、各ふるさと会が一つに合わさって活動を開始し、今回で18回目の開催となります。会場でたくさんの皆様と懇談させていただきました。

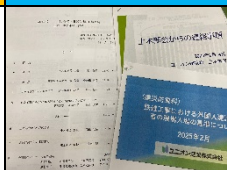
犬っこ祭り 2025



2日目11時に開催された「愛犬祈願祭」は吹雪となり大変でした。1,000人近い愛犬家とワンちゃんたちが一年間の無病息災を願っておりました。

2/8～9と約400年続く湯沢の小正月行事犬っこ祭りが行われました。初日は好天に恵まれましたが、

ユニオン建設土木建築部会総会



2/14 池袋メトロポリタンホテルにおいて、2024年度ユニオン建設防災協の総会が開催されました。安全

に対する取り組み、外国人材への対応、来年度の受注見込みなど詳しく説明頂きました。JR東日本としては今後新幹線の耐震補強等の工事が多く発注されるとの事でした。